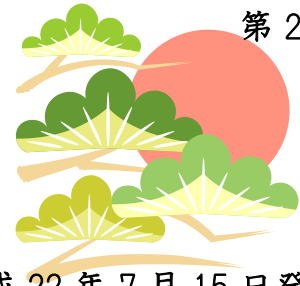


遠若山

第2号

松林寺だより



平成22年7月15日発行

はじめに

松林寺の各行事の様子をご案内します。これらの各行事に是非ご参詣下さい。

1、行事報告

① 平成21年11月8日報恩講…浄土真宗では、年間で一番重要な法要です。



勤行



岡崎の浄泉寺戸田恵信様によるお説教

② 平成22年1月4日修正会…お正月の法要の他に下記の催しがありました。



民謡



お琴のしらべ

③ 平成22年3月22日春の永代経…春のお彼岸の法要です。



勤行



雅楽

2、本山専修寺御影堂落慶法会（平成22年5月13日より5日間厳修）

この御影堂は親鸞聖人の木像を安置し、350年前に再建された木造建築物で老朽化により、このほど平成12年に修復工事に着工し、8年の歳月をかけ平成19年12月に落成しました。国の重要文化財の指定を受けているので、国や三重県や津市からの多大の助成は基より、特に檀信徒の皆様のご懇志のおかげでもあります。



全国末寺の役員の参詣



松林寺住職及び総代

3、第2回基礎講座

今回は、浄土真宗を開かれた親鸞聖人についてです。

親鸞聖人は、今から約840年前に京都で誕生されました。9歳で得度され、比叡山で29歳まで20年間修行をされました。その後下山され、よき師法然上人に出会われ「専修念仏」の教えを受け弟子とされました。その後、旧仏教勢力の迫害により朝廷の念仏弾圧を受け、法然上人は土佐へ、親鸞聖人は越後へ流罪されることになりました。両人とも5年間での流罪を許され、法然上人は京都に戻られ2ヵ月後に亡くなりました。

親鸞聖人は関東の枋木県下野（しもつけ）等へ移り住み多くの門弟を生みました。中でも直弟子であった真仏上人が高田門徒として、高田派教団の形成の基となりました。親鸞聖人は20年間関東での布教のかたわら、浄土真宗の根本的な聖典ともいわれる「教行信証」の著述に着手され、60歳を過ぎた頃京都に帰られこの著書を完成されました。日常よく読まれている「正信偈」はこの著書の行巻にある偈文で、正しくは「正信念仏偈」と言います。また、「和讃」とかお手紙（御書として拝読）等多くの書物を残され、90歳で亡くなりました。

おわりに

パソコンのホームページできました（アドレスは↓）。近況などブログで載せています。行事の様や、本山や他のお寺の参詣や、研修の様子などがあります。



〒455-0054

名古屋市港区遠若町2丁目35番地

真宗高田派 遠若山 松林寺

TEL & Fax 052-661-5741

ホームページ <http://www.n-syorinji.net>

